



あきたへ、あなたも、あしたから
Aターン情報誌
あきた日和
AKITA BIYORI

Aターン
インタビュー

鈴木 洋さん

株式会社テクレコ 秋田工場

「せっかく希望する職種の求人があつても面接にたどりつくまでが本当に難しかったです。へこんでしまうこともあったのですが、そんなときは『なんとかなるさ』と自分を励ましていました(笑)。」

Aターン者採用企業の紹介

株式会社 テクレコ

秋田の「今」がよく分かる

あきた A・LA・CARTE

知りたい! 聞きたい! 秋田の結婚事情 —— あきた結婚支援センターの紹介

Aターン企業面接交通費助成金の紹介

INFORMATION

Aターン年間スケジュール

2010
春号

vol.49



財団法人 秋田県ふるさと定住機構

テレビCMがきっかけ



鈴木洋さんは潟上市出身の47歳。愛知県岡崎市で無線通信機器の製造販売会社に7年間勤務し、昨年6月に帰郷しました。故郷である秋田に両親を残し、遠く離れた土地で過ごすことに不安を感じたことが、Aターンを考えるきっかけだったそうです。「お盆や正月休みに帰省すると、いつもその話になりました。自分も妻も秋田県出身ですから、いずれは…と考えていましたが、具体的に動き出すきっかけがありませんでした。お盆休みの帰省中にたまたま妻がAターン就職相談会のテレビCMを見て、『これだったら助けになるかもしれない』と、次の日には相談に行き、Aターン登録をしました。」



年齢を言い訳にしない

仙台の大学で電子工学を学び、潟上市内の会社に就職。愛知県内の会社に転職後、7年間を過ごします。

「このまま退職する日まで愛知に住んでもいいかな、と思うくらい愛着もあったのですが、帰郷するたびにふるさとの素晴らしさを感じていました。豊かな自然と人柄の良さ。のんびりと自分のペースで暮らしていける秋田で、もう一度生活したいという気持ちはAターン登録をしてみます。」

しかし、鈴木さんにとってAターン就職はたやすいものではありませんでした。

「年齢のことだと思うのですが、せっかく希望する職種の求人があったとしても面接にたどりつくまでが本当に

難しかったです。5件から10件に応募してようやく1件の面接にたどり着ける。へこんでしまうこともあったのですが、そんなときは『なんとかなるさ』と自分を励ましていました(笑)。」

すぐに仕事が見つかるとは思ってはいなかったものの、厳しい現実で落ち込んでしまうこともあったと鈴木さんは言います。

「気長に行こう、と心に決めて、目標だけは見失わないように頑張りました。」

本人の頑張りと同時に家族の支えがあって、2009年2月、企業からのリクエスト制度を通じて鈴木さんのもとに求人票が届きました。電子関係の職種ではあったものの、前職とは違う内容の業務。若干のとまどいもありましたが、

「自分が努力をすれば、きっとこ

の会社に貢献できる。」

と強く信じ、見事就職を果たしました。

強く信じること

トレーニング期間を経て、現在は秋田県大仙市の職場で、研究と開発に従事する鈴木さん。

「覚えることがたくさんあるので、毎日にハリがあります。」

と笑顔。潟上市内のご両親の自宅と同じ敷地内に建てた家で、奥様とお子さんでの三人暮らしです。通勤には高速を使って片道1時間程度かかってしまうのですが、毎日が非常に充実していると話してくれました。

「引っ越してきた当初は、14歳になる息子が『静かすぎて眠れない』などこぼしていたのですが、幼いころの友人に暖かく迎えられて、秋田での生活を楽しんでいるようです。」

ご両親の反応はいかがでしたか？
「非常に喜んでくれています。本当に帰ってきてよかったと、心からそう思います。」

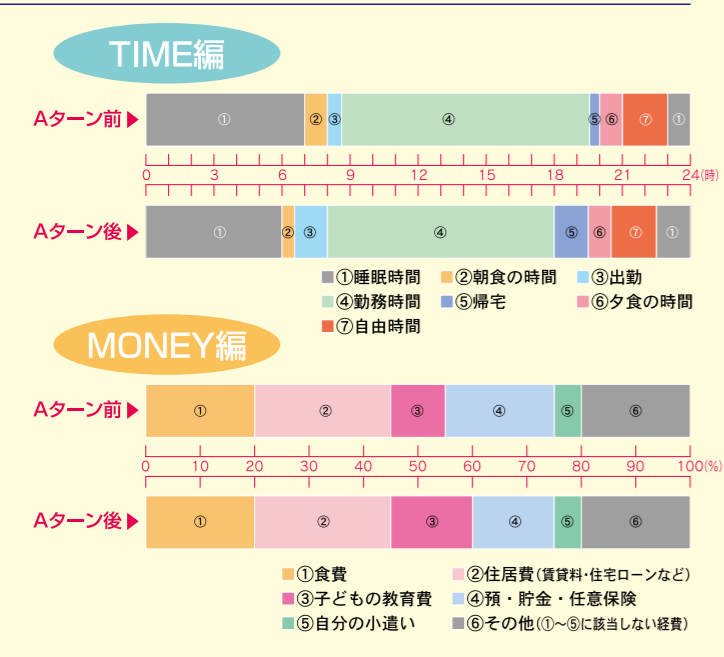
Aターンを考えている皆さんになにかメッセージはありますか？

「Aターンを真剣に考えているのなら、まず、自分を信じるのが大事だと思います。自分のやりたいことに優先順位をつけて、年齢などの条件も問題にならないくらいの覚悟と情熱で取りかかって、夢を実現させてほしいと思います。」

休日には趣味の自転車で秋田中をかけめぐり、キレイな空気と秋田の自然を満喫している鈴木さん。これからの活躍がますます期待されます。



データで見る 秋田の暮らし



株式会社テクレコ 秋田工場
開発グループ
鈴木 洋さん
潟上市出身 47歳

鈴木さんのAターン年表

- 平成20年 8月13日 Aターン就職相談会で相談
- 平成20年 8月19日 秋田県でAターン登録
- 平成21年 3月 7日 (株)テクレコの面接を受ける
- 平成21年 3月23日 見事採用決定!
- 平成21年 6月15日 秋田へAターン



株式会社テクレコ 秋田工場

株式会社テクレコは1960年創業。1973年秋田工場設立。カードリーダー用、音響用磁気ヘッドの専門メーカーとして一貫して技術革新に努め、製品の多様化をはかる。この分野では全てのアプリケーションに対応する最高水準の製品群を有する。

- 秋田工場 秋田県大仙市角間川町字愛岩63
TEL.0187-65-3355 FAX.0187-65-3310
- 本 社 神奈川県川崎市川崎区浜町3-8-8
TEL.044-355-6161 FAX.044-355-6167
<http://www.techreco.co.jp>



世界へ飛翔する 磁気ヘッドの リーディングカンパニー



株式会社 テクレコ



長寿命セラミックスヘッド

ソレノイド

カードリーダー用、音響用磁気ヘッドの専門メーカーとして
設立以来一貫して技術革新に努め、
製品の多様化をはかってきました。
今日では、この分野ではすべてのアプリケーションに対応する
最高水準の製品群を有しています。

会社概要

社名 株式会社テクレコ (英文名 TECHRECO COMPANY.,LTD)
所在地 本社 〒210-0851 神奈川県川崎市川崎区浜町3-8-8
TEL 044-355-6161 FAX 044-355-6167
秋田工場 〒014-1413 秋田県大仙市角間川町愛宕63
TEL 0187-65-3355 FAX 0187-65-3310
代表取締役社長 堀口昌男

設立 昭和35年4月
資本金 9,800万
従業員 本社 21名 工場 30名
工場規模 敷地 8,000㎡ 建物 1,500㎡

営業品目
・各種磁気ヘッドの開発・試作・製造・販売
・カードリーダー用デコーダーICの開発・販売
・各種コイル(ソレノイド、トリーガコイル)の製造・販売
・各種電子部品の輸出入販売

沿革

1960年 4月 前代表取締役堀口昌男が、東京都大田区に在りて
(有限会社)三輪電機製作所を設立、
各種磁気ヘッドの製造販売を開始。
1967年 5月 神奈川県川崎市に新本社社屋建設。
1969年 4月 三輪電機製作所を発展的に解消、
社名及び組織変更し株式会社テクレコを設立。
(資本金 4,000万円)
1973年 12月 秋田県大曲市に新鋭工場を設立。
1979年 4月 初の海外生産拠点として台湾に現地法人台湾技音電子を設立。
1982年 3月 資本金を2,000万円増資。(資本金 6,000万円)
1987年 8月 シンガポールに現地法人を設立。
1988年 4月 香港に海外営業拠点として香港テクレコを設立。
1990年 9月 広東省シンセン地区にテクレコ初の中国工場、
シンセン華信技音電子を立ち上げる。
1992年 3月 台湾工場の生産設備を中国広東省に移管し、主力工場とする。
台湾は台北にて販売活動に転換。
1992年 10月 資本金を3,800万円増資。(資本金 9,800万円)
1994年 11月 北京に中国内2番目の工場を設立、中国内販売開拓を目指す。
(産業用磁気ヘッド生産開始)
1997年 12月 並木精密宝石の中国磁気ヘッド部門を買収。
1998年 9月 並木精密宝石湯沢工場の磁気ヘッド部門を買収。
2001年 3月 シンセン工場、ISO9001:2000取得
2001年 7月 (株)三協精機製作所の磁気ヘッド部門を買収。
2002年 11月 北京工場、ISO9001:2000取得
2003年 12月 北京工場、ISO14001:1996取得。
2004年 1月 シンセン工場、ISO14001:1996取得
2004年 2月 本社、ISO14001:1996取得
2009年 1月 秋田工場ISO14001:2004取得

近年では関連分野の技術開発を進め、
磁気ヘッドに加え
カードリーダー用デコーダーIC、コイル製品
ソレノイド(4N自己保持型DC)を
製品化すると共に
海外メーカーとの提携により
マグネットの取り扱いを開始しています。

主要取引先

(日本国内)
日立オムロンターミナルソリューションズ株式会社
株式会社ニューロン
株式会社デンソーウェーブ
パナソニック コミュニケーションズ株式会社
スター精密株式会社
日本ビクター株式会社
オリンパス株式会社
(米国) Verifone, Hypercom
(欧州) Olivetti, Vingcard

(東南アジア地区)
SONYグループ(大東駿通、天虎工業)
JVCエレクトロニクスマレーシア
タナシン電機株式会社
東京ビジョン香港、シンガポール
東莞三星
香港オリンパス
香港三洋電機
台湾松下電機
台湾UNIFORM社
台湾XAC社

関連会社

香港 ■香港技音電子有限公司
■シンセン華信技音電子(シンセン工場)
中国 ■台湾技音電子股份有限公司
■北京泰和磁気記録製品有限公司(北京工場)
韓国 ■和成 I&T CORPORATION (Hwasung I&T CORPORATION)
シンガポール ■Smartcom Network pte ltd (シンガポールテクレコ)

「Aターン企業面接 交通費助成金」について

財団法人秋田県ふるさと定住機構では県外にお住まいのAターン登録者の方が、秋田県の企業へ採用面接のために要した往復交通費を助成しています。
平成21年度は延べ55名の登録者の方にご利用いただきましたが、利用いただくに当たり様々な問い合わせを受けております。
今回は、質問が多いことやご注意いただきたいことをまとめてみました。

申請にあたって

- 申請する場合、**面接を受けに行く前にAターンプラザに事前連絡が必要**です。面接を受けた後にAターンプラザに連絡いただいても、助成の対象にできません。
- 面接のために秋田に来訪される場合の交通費を助成しているものであるため、筆記試験やアパートを探すなどの目的のための費用については助成できません。
- 助成できる交通費は、鉄道運賃と航空運賃に限られています。高速道路の料金やガソリン代、バス(リムジンバス含む)代、タクシー代は助成できません。

申請の流れ

1 Aターンプラザに助成金を利用したいことを連絡

- 面接が決まりましたら、事前にAターンプラザに連絡してください。

2 切符を購入し、切符と領収証の写しを用意

- 申請には切符の写しと領収証又はその写しが必須となります。これらの書類が確認できない場合は助成金を交付できません。

3 秋田で企業との面接

- 面接を受けた時に面接証明書を交付していただくこととなります。
- 面接日に証明書を交付していただけない場合は、お手元に面接証明書が届いてからの申請となります。

4 Aターンプラザに申請

- 申請の際は、次の書類が必要です。一つでも不足すると申請を受け付けできません。

- ◆交付申請書 ◆切符の写し
- ◆領収証又は領収証の写し ◆面接証明書

※交付申請書と面接証明書の用紙は、ふるさと定住機構のHPからダウンロードできます。
(http://www.furusato-teiju.jp/n_list.php)

その他の注意点

- 3月に面接を受けて助成金を申請する場合、要綱上、3月31日(3月31日が休日の場合は、その前の営業日)まで申請していただく必要があります。3月後半に面接を受ける場合は、Aターンプラザの指示に従って申請してください。



5 交付決定

- ふるさと定住機構から交付決定通知書を送付します。
- Aターンプラザとふるさと定住機構で書類を審査してからの交付決定となりますので、お時間をいただきます。

6 請求

- 交付決定通知書には請求書と返信用封筒を同封してあります。請求書に口座等を記載し、押印のうえ返信用封筒で送付してください。
- 請求書には交付決定通知書右上に記載された番号(秋定一〇〇〇)と年月日の記載が必要となりますので、お手元に交付決定通知書を用意して記入してください。
- 押印漏れの請求書では助成金を交付できないので、その際は書類をお戻しします。

7 交付

- 請求書に記載の口座に振り込みいたします。(郵便局口座、県外銀行の口座でも振込可能です。)

秋田県分譲宅地の販売について(Aターン25%割引)

秋田県住宅供給公社(平成21年度末解散)から県が取得した分譲宅地について、4月26日より販売を開始しました。本宅地分譲では、Aターン割引を実施しており、**県外から移住される方(移住後3年以内の方を含む)の居住用の場合**には、価格を**25%値引き**して販売いたします。

団地名	区画数	面積(坪)	平均販売価格	減額適用後(△25%)
南ヶ丘ニュータウン(秋田市)	169	77	588万円より	441万円より
けまない団地(鹿角市)	38	104	227万円より	170万円より
船越内子団地(男鹿市)	4	93	477万円より	358万円より
元木山四季の街(湯上市)	38	83	310万円より	233万円より
合計	249	-	-	-

お申し込み・お問い合わせ先

〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号 秋田県庁6階
秋田県建築住宅課
TEL:018-860-2436 FAX:018-860-3819
秋田県ホームページ「美の国あきたネット」
<http://www.pref.akita.lg.jp/>



結婚コーディネーター
小玉 敦子さん
山谷 昭彦さん
長澤裕美子さん
瀬川 玲子さん

知りたい! 聞きたい!

秋田の結婚事情

A ターン登録者の約6割が独身だということをご存知でしたか?

せっかく秋田に帰ってきたのに、人と知り合う機会がない…、結婚もしたいけれど、出会いの場が少ない…といった独身男女の声は決して少なくはありませんでした。

秋田県では今年の3月25日、「あきた結婚支援センター」を開所しました。センターには4名の結婚コーディネーターがいて、主な業務は、地域で出会いを支援するボランティア「結婚サポーター」の養成、独身男女に出会いの場を提供する民間団体等の「すこやか出会い応援隊」の登録、民間企業や団体とのネットワークづくり、メールマガジンによる出会いイベントの情報発信などです。

今話題の「あきた結婚支援センター」の結婚コーディネーターにお話を伺いました。



あきた結婚支援センター



Q. こちらは県で運営されているのですね。

A. 長澤さん：県から出会い・結婚支援業務を受託して、この4月から「あきた結婚支援センター」が本格的に稼働しました。私ども結婚コーディネーター4名が主に業務に当たっています。センターは結婚相談所とは違いますので、1対1のご紹介はしていません。

Q. 具体的な業務の内容を教えてください。

A. 瀬川さん：地域で活動していただく「結婚サポーター」の養成、民間団体が出会いの場をつくる「すこやかあきた出会い応援隊」の登録、民間企業や団体等のネットワークづくり、センター主催イベントの企画、運営、メールマガジンによるイベントの情報提供などです。メールマガジンには、4月8日現在で948名が登録しているんですよ。

Q. 「結婚サポーター」とは何ですか?

A. 小玉さん：あきた結婚支援センターの認定を受け、ボランティアとして出会いを希望する独身男女の支援をしていただく方々です。具体的には、各地域で地域の特色を生かした出会いイベントを企画、開催したり、地域の団体などが開催する出会いイベントの支援をしたりと、地域における出会い支援活動を推進していただきます。

Q. 昔、近所いたような「おせっかいおばさん」とは違う?

A. 小玉さん：ええ、結婚サポーターさんは、仲人のように1対1のマッチングはしません。複数の独身男女同士が参加する出会いの場を、多く作っていただきたいと思っています。

Q. 「すこやかあきた出会い応援隊」とは?

A. 瀬川さん：独身の皆さんに出会いの場を提供する民間団体や企業のごことで、応援隊がそれぞれの独自のアイデアでパーティなどの食事会、体験教室、バスツアーなど独身男女の交流を図るイベントを企画、運営しています。現在約40の団体が応援隊として登録されています。

Q. センターが企画するイベントの内容はどういったものですか?

A. 長澤さん：年3回のモデルイベントを企画しています。内容は現在検討中ですが、「すこやかあきた出会い応援隊」の皆さんが行う「出会いイベント」の参考となるような内容で、皆さんのお役に立てるようなことを考えています。

Q. イベントの情報はどのように提供していますか?

A. 小玉さん：イベントの情報はメールマガジンにご登録された方には、メールでお知らせします。県が運営している事業ということで、登録される方も安心してご利用されているようですね。出会いイベントに興味がある方には、ぜひ、メールマガジンに登録していただきたいですね。

Q. これからの目標を教えてください。

A. 山谷さん：できるだけ多くの機会を設けて結婚を希望する方々のお手伝いできればと思います。特に男性は本当に恥ずかしがり。シャイなことも魅力ですが、せっかくイベントに来たのであれば、その時間を楽しんでいただきたいですね。

私たちのキーワードは『ハッピー×ハッピー×ハッピー～ハッピーコラボレーション』です。出会いを求めているご本人の幸せ、ご家族の皆さんの幸せ、そして地域の皆さんの幸せ。そんな幸せの相乗効果を生み出して行くことができたらと思います。

●連絡先

あきた結婚支援センター

秋田市寺内神屋敷3番1号 財団法人秋田県青年会館内
電話 018-874-9471

ホームページ

<http://common.pref.akita.lg.jp/deai-ouen/>

メールにて登録すると、イベント等の情報が配信されます。

詳しくはホームページをご覧ください。

男性側のマナーについて あきた結婚支援センターからのメッセージ

勇気を出してイベントに参加しても、壁にもたれて時間をつぶしてしまうのはもったいない! 思い切っている人々に声をかけ、会話を楽しんでみてはいかがでしょうか。第一印象はとても大事です。身だしなみに気を配り、大声で話したり、女性に質問を浴びせかけるのは控えましょう。あくまでも紳士的な態度で女性に接しましょう!!



気をつけてほしい、こんなこと

登録者連絡用はがき

必要事項をご記入の上個人情報保護シールを記入欄の上に貼りご投函ください。

■住所変更連絡欄 (変更後の住所等を記入)

〒 _____

☎ _____

■封筒の種類 (どちらかに✓印)

白封筒 定住機構の名前入り封筒

Aターン希望登録内容を変更したい場合や求人情報などの資料請求、または情報誌へのご意見・ご要望、今後取り上げて欲しい事項等ございましたら、お気軽にお寄せください。

氏 名 _____ 登録番号 _____

生年月日 昭和・平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日生

登録住所 〒 _____

☎ _____